

えんぼとたんぼの始発駅

里山ビオトープ二俣瀬

会 報 第 149 号

2013年12月23日

里山ビオトープ二俣瀬をつくる会

編集責任者：原谷 一誠

1. 活動報告（事務局 記）

—12月1日（日）二俣瀬町つくりサークルの活動と重なりましてその方に5名行かれましたが10名の参加を得まして下記維持管理作業をしていただきました。

- ① 湿地帯のエコアップ
- ② 木炭設備の解体・整地
- ③ 田んぼハゼかけ用竹の片つけ
- ④ 刈った草の後始末等々少ない参加者の中でたくさんの作業をしていただきました。

—12月13日（金）9時に集合して、テント 3張り 設置し、もみ台セット（長机・コンパネ紙張り）、会議室にて一時乾燥台セット（長机・紙貼り付け）、窯・バーナ・台ガラ石臼セットを13名の会員で行いました。

午後は4名で洗米 永山酒造さんにて自動米洗い機借用し、ふれあいセンターに運搬して準備終了です。

—12月14日（土）早朝8時より火入れ9時開会式を行いました。

来賓として久保田宇部市長・白石生活環境部長・河崎市議・JA 山口宇部農協総務部次長をそれぞれお迎えして盛大に慣行しました。

JA 農協より寄贈いただいた、もち苗を無農薬／有機栽培を掲げ6月に田植・7月に草取り・8月にイナゴ駆除・10月稲刈り・11月脱穀/粃すり/精米を行って収穫祭を行うことができました。

会員・親子自然観察隊・二俣瀬子ども会の皆様他多くの協働があつて成功裏におわりました。参加者は 来賓4名・つくる会会員29名・親子自然観察隊親子26名・二俣瀬子ども会親子21名・山大応援2名・市民センター・公民館応援3名 総勢85名でした。

合わせて25年度の「親子自然観察隊」の解隊式を行いました。

—12月14日（土）北九州市環境局未来都市推進室 吉田理香さま他「北九州自然環境保全ネットの会」17名の訪問がありました。ビオトープ先進地視察でした。

前田会員が収穫祭の後、湿地帯のエコアップ中であつたため原田とご案内いたしました。

2. 今後の予定（事務局 記）

◎見学者

特にありません

◎行 事

—12月28日（土）忘年会

—1月5日（日）正月休み

—1月18日（土）初集会（26年度の活動予定打ち合わせ）

3. 来訪者の声

今月はありません

4. 会員の声【 】 (記)

今月はありません

5. 親子自然観察隊 「 収穫祭、解隊式 」 (管 哲郎 記)

観察隊最後の行事である「収穫祭」は二俣瀬子供会と合同で行ったほか、宇部市長をはじめとする来賓と主な関係者合わせて90名弱を迎えて、楽しくにぎやかに行なわれました。

締めくくりの「解隊式」は収穫祭の終わった後に観察隊を全員集合させて行い、これで今年すべての行事が無事終了いたしました。

朝の気温は6℃と大変寒く、寒さに震えながらのおモチつきとなりましたが、幸いにも今日は雨による影響もなく、子供たちは全く元気で、上手におモチを搗き丸めてくれました。

今年はお米が昨年と比べ不作でしたが、それでも搗かれたおモチは2表半(150kg)にも上り、全員に十分に行き渡ったようです。

嬉しいことに、今回は久保田后子宇部市長が多忙な公務の合間に出席され、私たちの活躍を認めていただき、さらなる飛躍と激励のお言葉をいただくことができました。市長はご挨拶の後、ダイガラ(台唐)によるモチつきと、おモチを丸める作業に参加され、子供会、観察隊の皆さんと、別々に記念撮影に応じていただきました。そのあと会員の皆さんのそれぞれの持ち場を回り歓談されたのち、次の公務のため会場を後にされました。

解隊式には宇部市長もコメントされる予定でしたが、おモチつきに時間が取られ、やむなく帰られました。でも観察隊の皆さんと記念撮影ができましたので良かったと思います。

収穫祭と解隊式を無事終えることができました、子供たちの感想は「チョー楽しかった！」との返事があり大変喜んで帰りましたので報われた感じです。前日より準備に奔走された会員の皆さん、本当にご苦労様でした。感謝！感謝！です。



ビオトープ観察隊及び会員の皆さんと久保田市長との記念撮影



おモチ作り



お母さん方もおモチつきに参加しました

親子自然観察隊（12月14日 餅つき）に参加した親子の感想

★山本将大くん

今年は餅を作るのが少し上手になった。石臼での出来た餅と機械で出来た餅は少し味が違ったような気がしました。

★山本君のお父さん

今年も無事に収穫祭が迎えられて大変嬉しい次第です。石臼による餅つきもここでしか体験出来ません。こんな貴重な体験を子供は判っていないのが残念です。昔話は好きなので機械ではなくて手作業での体験にもう少し興味を持ってくれたら親として嬉しい次第です。あと今年こそは皆勤をと思っていましたが達成出来ず残念です。



★藤井美早さん

おもちをまあるくするのがおもしろかった。上手にできた。足でおもちをつくのがおもしろかった。

たくさんおみやげのおもちも頂いてありがとうございました。いろんな体験をさせていただきました。自然と親しんで自然と共生していく大人になってもらいたいなと思います。一年間お世話になりました。

★阿部真愉さん

今年は毎年より寒かったので おもちがとても温かかったです。と中におもちが落ちそうになってあせりましたが、左手ですくったら危機一髪 落ちなかったのでホッとしました。最後 終わる時に「来年は 今日よりも寒いかも…」と心の中で思いました。

★阿部さんのお母さん

収穫祭の日は毎年 とても寒さが厳しいですね

温かいお餅を丸めるとかじかんだ手が緩んで ホッと幸せな気持ちになります。ダイガラでの餅つきは 結構 足の力が必要なのとリズムが大切だなと感じました。二本の杵でつくのも、かなり体力と相手の方との呼吸の合わせが大切ですが、一人でダイガラを踏んで餅つきをしていた昔の方々の様子を想像すると 田植えから餅になるまで とてつもない忍耐耐力だなと 頭のさがる思いです。

頂いたお餅は、こしが強くてとても美味しかったです。ご馳走様でした。

一年間 自然の移り変わりを五感を通して体験出来 親子共々 有意義な時間でした。有り難うございました。



★金子 実侑さん

だいがらでおもちをつくのは、重くて大変でした。アツアツのおもちを丸めるのは楽しかったです。

1年間の行事でいろいろなことが体験できて、楽しかったです。

★金子さんのお母さん

《おもちの正しい?!丸め方…》が知りたいです!!昔から伝わる「こんな丸め方をするともっとおいしくなるよ…」というやり方があれば、ぜひ、子どもたちにも教えていただきたいな～、と思います。会員の方々の事前の準備のおかげで、親子でとても楽しくお餅つきが体験できました。ありがとうございました。



★下川拓実くん

だいがらは初めてだったので大変でした。お餅を丸めるのがだんだん上手になってうれしかったです。つきたてのおもちはおいしかったです。

ビオトープの会は一年間楽しかったです。虫取りと川登りがとても良かったです。農作業のことで生き物のことが勉強になりました。

★下川くんのお母さん

餅つきは予想以上の収穫量に驚きました。有り難くおいしく頂きました。ありがとうございます。

ビオトープの会では拓実の生き物好き魂が毎回満たされ、充実したいい顔をたくさん見せてもらいました。生き物がちょっぴり苦手な私も、自然観察隊は親子での活動でしたので、子どもと一緒に生き物や自然に触れることができました。楽しい活動をさせていただき、スタッフの皆様へ感謝いたします。大変お世話になりました。ありがとうございました。

★戸成晃大くん

今年は試合とかさなってあまりいけなかったけど、餅つきはとても楽しみにしていたのでうれしかったです。つきたてのお餅はとてもおいしかったし、お餅を丸めるのも上手にできました。

里山は、面白くいい体験になったと自分でもよく思います。あと里山の人には、よくお世話になりました。たとえば、里山でやけどを、した時、菅先生に高いやけどぐすりをぬってもらったりしました。そのおかげで今は、パリパリになって皮がはげてもうなおいりました。

今考えたら菅先生に薬をぬってもらわないとなおりが遅くなると思います。

ほかにもいろいろお世話になったと、思います。

なかなか行けなくて今年でやめようと思ったけど、もちつきでまた来年も行きたいと思いました。

皆勤賞の網が欲しいです。ありがとうございました。

★戸成くんのお母さん

今年一年 大変お世話なりありがとうございました。

今年はやなかなか参加出来ず残念に思っていました。最後の餅つきは親子共々とても楽しむ事が出来ました。自分達で収穫したもち米をだいがらでつく事はとても貴重な体験だと思っていますが、私達親子にとって毎年恒例の欠かせないイベントとなってしまっています。

本当に会員の方々にはお世話になりっぱなしで申し訳ないです。親子観察隊はいつも楽しみにしています。今年一年楽しく体験、観察させて頂き本当にありがとうございました。

親子自然観察隊（11月24日 里山の暮らし）に参加した親子の感想

★大井千晴さん

里山のくらしは、親子共に勉強させられました。いかに今現代が、便利で手間なしで贅沢しているかを、再度身にしみて体感いたしました。日常生活の中では、分かっているもつつい楽をしてしまうので、この機会に改心出来たかなと思っています♪



★藤井美早さん

薪割りが楽しかった。火をおこすのが楽しかった。薪割りがだんだん上手になってうれしかった。石臼を回すのが楽しかった。

★藤井さんのお母さん

子どもたちはこうしてたまに体験するから楽しかったと思えるんでしょうね。これが、昔の暮らしで毎日の仕事となると、大変だなあと思います。ふだん、何もつくることなく、なんでも買ってくる生活なので、こうしてものが作られるということを知っていただけたらいいなあとと思います。



★金子実侑さん

石うすで、お米を粉にしたり、大豆をきな粉にするとき、細かくするのが大変だったけれど、たのしかったです。自分が粉にしたお団子ときな粉はとてもおいしかったです。薪割りも体験することができて、うれしかったです。昔の農作業はとても大変だとわかりました。たくさんのお友達に教えてあげたいと思いました。去年もこの作業をしたのを、よく覚えています。昔のやり方がわかったので、来年もやりたいです。

★阿部真愉さん

ビオトープでの 色々な体験がとても楽しかったです。初めに いなほからお米をおとしました。それは大きなフォークみたいなものに引っかけておとしました。むずかしくて かたかったです。

体験で一番楽しかったのは石うすでもち米をひいて粉にして おだんごを作ってきたことでした。朝のビオトープはとても寒かったです。



★阿部さんのお母さん

朝のビオトープはヒンヤリとした新鮮な空気に包まれていました。ちょっと油断して もう一枚着てくるべきだったと、車を降りて あずまやに向かう道すがらかなり肌寒かったのですが だんだんと暖かくなってきたので安心しました。

里山の暮らしの貴重な活動を体験させて戴き有り難うございます。

どの作業もなかなか根気のいるものばかりで 昔の人たちの生活に思いを馳せることができました。

石臼でひいたきなこは、とても香ばしい香りを漂わせていました。米粉団子は素朴な美味しさでした。

★岸田帆乃佳さん

私は、今回の里山のくらしは久しぶりの参加でした。刈り取った稲を機械でもみだけを取るのはむずかしそうと出来るかな？と心配だったけど、やってみたらきれいにもみだけが取れてすごいなあ～と思いました。上手に出来たのでうれしかったです。

それから、お団子作りのお手伝いをしたり、大豆をうすで細かくしたきなこを食べたり、しめ縄作りも体験しました。初めてのことばかりでとても楽しかったです。ありがとうございました。



★戸成晃大くん

ヤケドは熱かったけど、ダンゴはとてもおいしかった。久しぶりなのに途中で帰ったのがかなしかった。

6. ビオトープ関連：「山口県のトンボたち」 （管 哲郎 記）

(12) ネアカヨシヤンマ *Aeschnophlebia anisoptera* Selys

ヤンマ科 *Aeshnidae* Rambur <アオヤンマ属> *Aeschnophlebia* Selys

近頃では棲息数が激減しているようで、めったに見ることができなくなったトンボの 1 種です。田のあぜやため池の水際、湿地などでよく見かけたものですが、黄昏飛翔の姿を探し、確認の方が楽かもしれません。しかしそれでも、トンボに慣れた人でないと飛ぶトンボの姿を見て本種と確認することは難しいでしょう。

5月ごろより羽化を始め7～9月まで見られるようです。運が良いと農道や林道の道のそばの木の枝に休止している姿を見られますが、発生する池などの近くでないと、やはり見つけるのは難しいようです。

筆者もかろうじて数コマ撮影した写真があるだけで、あまり作品を持ちません、これからも機会あるごとに写真を撮りに行かねばなりません。



ネアカヨシヤンマのオス



ネアカヨシヤンマのメス

7. 会よりの連絡事項（事務局より）

(1)、会報編集長より

会報の2014年正月号は記念すべき150号となります。記念冊子としての作成は無理かもしれませんが、全会員皆様の投稿をお願いすることになりますので、今から何か準備しておいてください。（投稿の締め切りは、2014年1月17日（金）の予定です）

会の活動日に、投稿の可否を確認していきますが、少ない場合には強制的に指名も考えますので、ぜひ協力して下さい。

(2)、次回の活動日について

次回1月5日は正月休みです。

その次は、1月18日で初集会です。平成26年度の行事について話し合いをします。

維持活動は、2月・3月とまだ寒い時期ですが、多くの方の参加を望みます。

8. 編集後記

収穫祭がおこなわれた日の午後、北九州市からの団体がビオトープに見学にこられました。三年ぶりの来訪です。この中のお一人から、“遠賀川流域便り”というものをいただきました。これ自体はお役所（国交省）発行のものですが、この中に協力団体として記載された“NPO法人遠賀川流域住民の会”という団体に興味が湧き、ホームページを閲覧してみました。

“NPO法人遠賀川流域住民の会”とは、遠賀川流域の環境に関する様々な任意団体を主体として結成されているようです。団体の数は18、その範囲は遠賀川流域の8自治体に及んでいます。我が里山ビオトープ二俣瀬のように、環境大臣賞を受けた団体もあります。ホームページを見る限りでは、理想的な団体です。一つの水系を対象としているため、目標も具体的なものとなります。また複数の自治体を巻き込んでいるため、遠賀川全体を把握できます。厚東川水系には、現在このような団体がありません。

当会が関連するNPO法人として、“NPO法人宇部環境コミュニティー”があります。この活動の中には、水源保護活動事業のように厚東川水系に関連するものもあります。しかし当会と活動と、この活動との連携は十分ではありません。さらに、厚東川の源流は美祢市にあります。美祢市にも、ネットで検索すると水系に関する任意団体が複数あります。これらの団体との連携を密にし、厚東川水系の環境に特化した団体を作れないものでしょうか？お役所主導ではない団体が。

（前田 歳朗 記）